

# 第2部「富谷宿巡りガイド育成に向けて」(フォーラム)

[令和5年3月12日(日) 13:20～ 富谷中央公民館]

- 街道や町並で活躍するガイドたちが誇りを持って“我がまち”を案内することは、まちづくりにつながる大きな一歩になっています。
- 富谷宿づくりを担うガイドの意義・役割やガイドの誇り等について、他地域の事例を学び・語り合いました。

## ■ 開会あいさつ

## 会場の様子



若生 裕俊 富谷市長



## ■ 講演『ガイドの誇り』 講師 白澤 剛一氏 (いわいの里ガイドの会元会長)

[13:30～14:05]

「いわいの里ガイドの会」(一関市)の活動の紹介をはじめ、地域資産の活用と観光振興、訪日旅行者や世界の観光状況、ガイドの意義・役割、ガイド基本など、どの様な誇りを持ってガイド活動しているのかを紹介頂きました。



**【プロフィール】** 岩手県旧大東町生まれ、一関市在住。平成14年の「いわいの里ガイドの会」設立に関わり、平成20年度から平成27年度まで会長を務め、退任後に顧問に就任し現在に至る。平成22・23年岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会会長、平成24年度一関市観光振興計画策定委員会委員長など歴任。平成28年11月、一関市市勢功労者表彰受賞。他に、宮城県北活動団体に呼びかけ、平成28年「芭蕉の道・迫街道(上街道)ツアー実行委員会」を設立、令和元年から「芭蕉の道・案内人協議会」に発展させ、令和3年度まで会長を務めた。

## ■ 分科会(パネルディスカッション) 『富谷宿を生かした街づくりはガイドから始まる』

[14:10～15:30]

それぞれの団体のガイドの養成や運用のシステムを紹介頂くとともに、地域づくりや街づくりへの意義・役割やガイドの誇り等を話し合い。また、会場の参加者を交えた質疑応答・意見交換も行いました。



(写真:左から)アドバイザー:白澤 剛一氏、ファシリテーター:宮原 育子氏、パネリスト:高橋 幸三郎氏・二階堂 秀紀氏・高橋 信行氏

### 【プロフィール】

**[ファシリテーター]**  
**宮原 育子氏** (みやはらいくこ)  
 (宮城学院女子大学教授・とうほく街道会議会長)  
 東京生まれ、山形県高島町在住。旅行会社に11年間勤務後、昭和64年明治大学文学部史学地理学科、東京学芸大学大学院を経て、平成9年東京大学大学院博士課程修了。平成9年宮城大学事業構想学部助教授を経て教授。平成28年から宮城学院女子大学現代ビジネス学部長を経て現在に至る。専門:地理学。旅行事業、地域交流事業。地域資源論。宮城大学名誉教授。

**[パネリスト]**  
**高橋 幸三郎氏** (たかはしこうざぶろう)  
 (NPO法人NPOみなとしほがま副理事長)  
 塩竈市生まれ、塩竈市在住。平成16年NPOみなとしほがまの活動に参加。現在、NPOみなとしほがま副理事長、歴史的建造物保存活用部会長、古文書部会会員、ボランティアガイドの会事務局として活動中。  
 ➢18年前のボランティアガイド養成講座から変革を経て来た状況、ガイドの誇りの事例を紹介頂きました。

**二階堂 秀紀氏** (にかいどうひでき)  
 (栗駒山麓ジオパーク推進協議会前事務局長)  
 栗原市生まれ、栗原市在住。栗原市退職後、栗駒山麓ジオパーク推進協議会事務局長に就任し、5年間活動。平成20年2月「くりはら街道会議」を立ちげ、令和4年度から「芭蕉の道・案内人協議会」事務局長を務めている。  
 ➢「日本ジオパークネットワーク」の指針に基づくガイド養成等のシステム、栗駒のジオガイドの状況など紹介頂きました。

**高橋 信行氏** (たかはししんぎょう)  
 (吉岡宿本陣案内所ガイドスタッフ)  
 北海道生まれ、東京勤務。結婚が縁で仙台好きとなり、金帰月来の逆単身赴任生活を選択。平成12年、まほろば探偵団探索会参加を契機に、まほろばまちづくり協議会入会、理事。平成28年同協議会としてガイド部門立上げと解説史料制作に携わる。  
 ➢平成28年「殿、利息でござる！」上映に際してのガイド部門立上げの状況、団地の新住民のガイドとして経緯などを紹介頂きました。

- ◆参加者は、募集定員を超える64名(スタッフ含)でした。
- ◆講演及び分科会の詳細な内容は、別途報告書を作成し、「とうほく街道会議」のホームページに掲載します。このフォーラムを契機に富谷宿にガイドの団体が発足し、多くの人々が富谷宿を訪れて歴史にふれると共に、富谷市民の方々が富谷宿に誇りを持って、これを守りながら生き生きと暮らすことを望みます。